

## 視覚障がい者を対象とした仮名漢字変換支援システムの構築（研究の進捗発表）

著者	長野 堯, 西田 昌史, 綱川 隆司, 西村 雅史
雑誌名	発表予稿集 : 情報学シンポジウム
巻	2018
ページ	30
発行年	2018-12-22
出版者	情報学シンポジウム2018実行委員会
著者版フラグ	publisher
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10297/00026624">http://hdl.handle.net/10297/00026624</a>

## 視覚障がい者を対象とした仮名漢字変換支援システムの構築

長野 堯（情報科学科），西田昌史，綱川隆司，西村雅史（学術院情報学領域）

視覚障がい者はパソコンを利用する際に，画面を目で見ることはできないためスクリーンリーダーというソフトにより音声で情報を理解する．そして仮名漢字変換を行う場合，その漢字を含む別の単語で説明する詳細読みを用いるが，これには同音異義語があると想起しづらい場合がある．そのほかにも，漢字をパーツに分けて説明する構成読みがあるがこれには複雑な字形の漢字には使いにくいという欠点がある．また，以前行われた視覚障がい者への漢字との関わりについてのアンケート調査によると，多くが「漢字の意味，読み，用例や字形の知識が必要」と回答した．そこで，本研究では「詳細読み，構成読み，意味，読み，例文」といった情報をひとまとめに提示するシステムを構築し，漢字の連想のしやすさの向上について検討した．予備実験の結果，従来の詳細読みに比べて提案手法のほうが正しく漢字を連想できることがわかった．